第2回 学校運営協議会

期日 令和８年 10 月９日(金)
時間 16:00～17:00
場所 旭市立萬歳小学校図書室

出席者：萬歳小学校運営協議会委員10名（地域より8名・学校より2名）

1 はじめの言葉

2 校長あいさつ

3 報告

(1)1 学期を振り返って(児童アンケート)【校長】

・前年度7月および令和7年度1月の結果と比較したところ、複数の項目で数値の低下が見られた。特に「分からないことを質問できるか」に関する項目で低下が大きく、児童が疑問や困りごとを自分から尋ねることに課題があると考える。

・教職員数の減少も、児童一人一人を細やかに見取ることへの影響要因として考える。今後、職員間で改善策を検討し、1月に再度アンケートを実施して変化を確認する。

〇萬歳の子はおとなしいと感じる。以前からそうした傾向はあった。統合後が心配である。

〇 「学級で楽しく安心してすごしています。いじめはありません。」の項目が下がっている。児童の感じ方を把握しながら支援を進めてほしい。

〇日頃の挨拶や発言には成長も見られる。

〇職員の数で児童の肯定感が違っているとの説明があった。学校統合後はどうなるのか。

【校長】

統合に伴う増置がある。特別支援の人数によって学級数が変わってくるので、それによっても職員の増減がある。

(2)児童の活動について【校長】

・学校便り及び、ホームページに載っているので、そちらを見てほしい。

(3)全国学力・学習調査について【校長】

・今年度の小学6年生は、国語が全国平均を上回る良好な結果となった。条件に沿って文章を書く力や、漢字等の基礎的な力が身に付いていることがうかがえる。

・算数は全国平均と同程度で、計算などの知識・技能は定着している一方、考え方や解き方を言葉・数を用いて説明する「思考・判断・表現」に課題が見られた。答えを選ぶことはできても、その理由を説明する問題や、数量の求め方を文章で表す問題でつまずきがあった。

・今後は、算数でも考えた理由や解決方法を自分の言葉で説明し、友達と伝え合ったり、グループで話し合ったりする活動を充実させる。国語では、文章の要約や、文章を読んで問いに対する答えを書く取組を継続する。現5年生についても、3学期に同様の取組を行う予定である。なお、調査結果はその学年の児童の状況によって変わるため、継続的な指導と支援が重要である。

〇6 年生がこのような成績ということはわかったが、他の学年はどうか。

【校長】

全国学調はその年の 6 年生が対象。そのため、年度によって実態が違う。ただ、本校の傾向というはあるので、そうした部分を改善していきたい。

〇成績がよかったが、どのような取組をしたのか。

【校長】

「音読」「視写」に加え、文を読んでから要点をまとめる学習等を取り入れている。

(4)地域学校協働活動について【教頭】

・地域の方々や保護者から、環境整備、音読、校外学習の引率補助、ミシン学習の支援、運動会後の片付けなど、多くの協力を得ている。今後も、芋掘りや収穫物の調理等で協力をお願いする予定であり、引き続き支援を依頼。

4 協議事項

(1)令和 9 年度ひかた椿小学校運営協議会委員の選出について【教頭】

・統合後の学校運営協議会について、各校から3名ずつ、管理職を除き計9名程度とする案が示された。男女のバランスや、協議会等の経験も考慮したいとの説明。

〇現役の保護者方から委員を選出してはどうか。

【校長】

地域とともにつくる学校という観点から、できれば地域の方から選出をお願いしたい。保護者の意見はPTAの代表が 1 名は入る予定なので、そこからいただくことはできる。

(2)その他

〇統合後のスクールバス停付近について、横断歩道がない道路を渡る必要が生じる可能性があり、特に低学年児童の安全確保に強い懸念が示された。バス停の位置や通学経路、待機場所を含め、事故防止の観点から具体的に検討する必要がある。

〇教育委員会・市等の関係機関と協議する機会を設け、安全対策について確認・要望する。実際の利用人数や登下校時の動きを踏まえたシミュレーションを行い、乗車場所、道路の横断方法、所要時間等を確認すべき。

【校長】

入学前にバス乗降の練習を2回行う予定。

5 連絡

(1)今後の日程について

・第 3 回学校運営協議会 2 月10日(水)

6 終わりの言葉